

## 2022年度入学生：外国語科目ガイダンス資料

2022年度入学生は『都市大スタンダード 2.0』カリキュラムのもと、外国語科目の履修を行います。本資料を熟読し、計画的で責任ある履修を心がけてください。資料やお知らせは WebClass（学習支援システム）コースに公開します。

『新入生向け外国語ガイダンス』

[https://webclass.tcu.ac.jp/webclass/login.php?group\\_id=b222009](https://webclass.tcu.ac.jp/webclass/login.php?group_id=b222009)

ユーザー名 入学時に配布される TCU アカウント（例：g22 . . . . .）  
パスワード 各自で設定する TCU アカウントのパスワード



## 1 年次英語必修科目

## (1) 英語必修科目の受講時期、単位数、開講システム

理工学部・情報工学部・建築都市デザイン学部・都市生活学部

Communication Skills をセメスター形式（週 1 回/14 週完結）、Reading and Writing をクォーター形式（週 1 回/7 週完結）で履修します。

開講時期	科目	略称	単位	開講システム
前期	Communication Skills (1)	CS(1)	各 1	週 1 回 / 14 週完結（セメスター）
後期	Communication Skills (2)	CS(2)		

前期前半	Reading and Writing (1a)	RW(1a)	各 0.5	週 1 回 / 7 週完結（クォーター）
前期後半	Reading and Writing (1b)	RW(1b)		
後期前半	Reading and Writing (2a)	RW(2a)		
後期後半	Reading and Writing (2b)	RW(2b)		

## 人間科学部

人間科学部の学生は、すべての英語必修科目をセメスター形式（週 1 回/14 週完結）で履修します。

授業自体は他学部との混成で行います。

開講時期	科目	略称	単位	開講システム
前期	Communication Skills (1)	CS(1)	各 1	週 1 回 / 14 週完結（セメスター）
後期	Communication Skills (2)	CS(2)		

前期	Reading and Writing (1)	RW(1)	各 1	週 1 回 / 14 週完結（セメスター）
後期	Reading and Writing (2)	RW(2)		

## (2) クラスの配属

英語必修科目のクラスは **入学時オンライン TOEIC (基礎学力調査)** のスコアを踏まえて決定されます。配属されたクラスは変更できません。**この試験を受験しなかった場合、1 年次に英語必修科目を履修できなくなりますので、必ず期限内に受験してください。**

**受験方法** (詳細は別資料「オンライン TOEIC 実施要項」を参照)

- ① TCU メールにアクセス。
- ② 【受験者情報登録完了通知】というタイトルのメールを探す。
- ③ メールの内容を確認し、記載されている URL をクリック、必要な情報を入力し、試験スタート。

### クラス分け発表

4月9日(土) 18:00 までに前述の WebClass コース「[新入生向け外国語ガイダンス](#)」で公表します。学生によっては 11 日(月) が初回授業日となりますので、10 日(日) までに確認すること。

レベル	授業の特徴
上級	授業で使用する言語は英語が中心となり、ディスカッションやプレゼンテーションなど、やり取りを重視して授業が進められる。英語で書かれた教材を使用し、実践力を高めると共に、論旨が明確な文章が書けるような力も養う。少人数クラスとなるため、授業に関わりやすく、クラスメイトとの絆も深めやすい。将来留学を考えている学生はもちろん、積極的に英語力向上を目指す学生に適したクラスとなる。
中級	基本的な文法事項はおおよそ理解している、長文も大筋は理解できる、リスニングもある程度対応できる学生向けのレベル。中級下位クラスでは基本的に日本語で授業を行うが、上位クラスでは英語を使う割合が増えることもある。中級・初級で同じ教科書を使用するが、進度が異なり、中級クラスでは教科書以外の応用練習(別の読み物の講読、文章の要約、自分の考えを書いたり話したりする練習など)を行う。
初級	基本的に授業は日本語で進められる。文法事項の理解にムラがある、長文やリスニングも苦手で断片的な理解に留まるといった学生向けのレベル。身近な話題について書かれた 350~400 語程度の英文を使用した読解演習を通して中学から高校レベル程度の英語を復習し、基本語彙、基礎文法および構文に関する知識を確実にする。英語を話すことに自信がない学生も、リスニング演習やペア・グループワークなどを通して、英語の発話に慣れ、自信の構築につなげていく。
基礎	中学程度の英語の復習が特に必要と感じている学生向けのレベル。250~300 語程度の短めの英文を使用した読解教材を用い、品詞の区別、時制、文章構造など基本的な文法知識を着実に身につけていくほか、平易な英語を使用したセンテンスレベルでの英作文演習も行う。基本的に授業は日本語で進められるが、コミュニケーション科目のアクティビティは原則英語のみで行う場合がある。まずは人前で簡単な英語を話すことに慣れることから始め、苦手意識の克服につなげてほしい。

### (3) 教科書

教科書購入手続きについてはポータルサイトに掲示されます。**クラスのレベルによって使用する教科書が異なりますので、配属クラスが決定するまで教科書は購入せず、クラスが分かり次第、購入手続きをしてください。**

レベル	科目区分	教科書
上級	CS・RW	<i>American Headway 3</i> (3rd ed.). Oxford University Press * CSとRW で同じ教科書を使用します。
初・中級	CS	<i>Listen Up, Talk Back (Book-2)</i> . 成美堂
	RW	<i>Success with Reading (Book-2)</i> . 成美堂
基礎	CS	<i>Four Corners Level 1</i> (2nd ed). Cambridge University Press
	RW	<i>Changing Times, Changing Worlds</i> . 成美堂

### (4) e-learning

初年次教育における、自律的な学習習慣および英語基礎学力の定着を目的とし、英語必修科目の単位要件として e-learning を実施します。 ※ e-learning のアカウントは授業開始後、第 2 週目までに付与されます。

教材：ALC NetAcademy NEXT 総合英語トレーニングコース（初級・中級・上級）

開講時期	科目	最低進捗率	サブコース
前期	CS(1)	30%	リスニング&スピーキング
後期	CS(2)	80%	

前期前半	RW(1)	RW(1a)	15%	リーディング&ライティング
前期後半		RW(1b)	40%	
後期前半	RW(2)	RW(2a)	60%	文法インプット&アウトプット
後期後半		RW(2b)	80%	

#### e-learning における注意事項

- e-learning のコースレベルは配属された英語必修クラスのレベルにより決まります。
- **指定された期日（授業内で発表）までに上記の進捗率を満たさない場合、単位は与えられません。**
- 継続的な自学自習を心がけてください。進捗が一度でも滞った場合は、後で挽回することが難しくなります。
- 担当教員は学習履歴や経過時間など詳細な情報にアクセスします。**適当に解答するなどの不誠実な取り組みは「不正行為」となります。**発覚した場合、当該科目は不可となることがあります。
- クラスによっては e-learning 教材を授業で扱うことがあります。担当教員の指示に従ってください。
- **人間科学部**の学生へ：Reading and Writing をセメスター制で履修しますが、上の進捗率に準じて学習を進め、前期（40%）および 後期（80%）の要件を満たせるように計画的な取り組みを心がけること。

## (5) 成績

クラスに関わらず、成績判定には以下をすべて満たす必要があります。

(a) 授業への 2/3 以上の出席, (b) 期末試験の受験, (c) e-learning 規定の進捗率を満たすこと

- 評価基準の詳細や授業内テストの内容・回数等は担当教員によって異なるので、上記ルールも含めて、各クラスの初回授業で教員からの説明を必ず確認してください。
- **下のレベルのほうが良い成績が取りやすいということはありません。**上のレベルの方が「秀」や「優」など良い成績を付与される学生の割合が高くなる傾向があります。

## (6) 再履修について

必修科目において「不可」の成績が付いた場合は、翌年度以降に「再履修クラス」を受講します。再履修になると 2 年次以降の専門・教養科目が希望通りに履修できなくなるなど、履修計画に大きな影響を及ぼします。

## (7) TAP プログラム参加学生

TAP によるオーストラリア留学では、現地の英語科目と教養科目を履修することができます。帰国後、本学所定の審査（教授会判定）により、留学先で取得した科目の単位が認定される仕組みです。**英語科目の単位が認定されれば、TAP 参加学生は本学で開講される英語必修科目の履修が免除されます。**

TAP 参加学生は 1 年次に英語必修科目を履修せず「**留学準備講座**」を受講しますので、**4 月 8 日時点で TAP プログラムにエントリーしている学生は英語必修クラスに配属されません。**留学準備講座のスケジュールや受講方法については国際部から別途案内があります。

ただし、プログラムへの申し込みの有無に関わらず、**入学時 TOEIC は受験必須です。**その結果を基に e-learning のアカウントが付与されますので、積極的に自学自習に取り入れてください。

### 留学前にプログラムを辞退した場合の扱い

本学で英語必修科目 4 単位を履修する必要があります。辞退のタイミングにより科目の履修方法が異なります。

#### 前期（前期前半・前期後半）の途中で TAP を辞退した場合

後期（後期前半）から英語必修科目に合流します。配属クラスの情報 は後期開始前にポータルサイトで掲示されます。その際、**前述の e-learning 達成率が例外なく単位要件に適用**されます。

#### 後期（後期前半・後期後半）の途中で TAP を辞退した場合

次年度の前期（前期前半）から **再履修クラス** を履修します。

TAP プログラムや留学準備講座に関する問い合わせは、国際部 ([studyabroad@tcu.ac.jp](mailto:studyabroad@tcu.ac.jp))まで。

## 2 年次以降 外国語選択科目

カテゴリー	概要
英語選択科目（スキル）	英語運用能力の向上を主眼とする
英語選択科目（教養）	文学、言語、文化・社会に関する教養を深めながら英語を学ぶ
英語以外の外国語科目	英語以外の外国語を学ぶ
共通科目	外国語特別講義 ・ 海外・特別選抜セミナー

※ 共通科目【海外・特別選抜セミナー】は TAP および海外インターンシップ研修を除く、海外研修プログラムで取得した単位の互換を認める科目であり、通常の履修登録の対象となりません。。

- 開講科目の種類は「学修要覧」、開講曜日時限は「授業時間表」の「共通」欄を参照すること。
- 卒業要件単位数を超えて外国語選択科目を履修した場合、超過分は自由選択扱いとなります。
- 多くの科目で定員があり、履修者の抽選・選抜が行われます。履修申請に関する情報は、学期開始前にポータルサイトで周知されます。見逃さないように注意してください。
- 科目ごとに履修レベルが設定されているので、自身の語学力に見合ったレベルの科目を履修してください。
- 学期により、世田谷キャンパスでは開講されない科目があります。これら他キャンパスで開講されるクラスを履修する方法はポータルサイトのお知らせ欄に掲示されます。
- 英語以外の外国語科目（ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語、アラビア語、日本語）は、その言語を母語とする学生は履修できません。
- 外国語選択科目についての詳細は、ポータルサイト等で公示される資料を確認してください。

## 進級・卒業要件

学部・学科・所属コースにより進級や卒業に必要な単位数が異なります。配布された学習要覧を参照してください。

## 基礎学力調査（オンライン TOEIC）

新入生オリエンテーション期間内、1 年次末および 3 年次後期の計 3 回実施します。TAP 参加者を含め、**これらすべての試験を必ず受験**する必要があります。

- 入学直後：試験結果に基づき、英語必修科目は基礎・初級・中級・上級の 4 レベルにクラス分けされます。
- 1 年次末：1 年次終了時のレベルを測ります。この試験を受験しなかった場合は、2 年次に英語選択科目を履修する際、希望する科目が履修できなくなるなどの不利益を被ります。
- 3 年次後期：就職活動を見据えた目標設定を行ったり、スコアを実際に就職活動に活用したりできます。

結果を記したスコアレポートは就職活動など公の場で使用することも可能です。スコアレポートは受験形態によって扱いが異なります。

- オンライン受験の場合： 結果のダウンロードが可能ですが、発行には期限があります。期限を超えた後で再発行することはできません。
- 会場受験の場合： 学科を通して返却されます。原則、再発行はできないので注意。

#### その他

- 学内掲示板、ポータルサイト、学生メールアカウントを随時チェックしてください。
- 外国語科目の履修については、自身の所属する学科クラス担任と相談してください。
- 外国語共通教育センター専任教員がオフィスアワーを設けているので活用してください。日時はポータルサイトや本学のホームページで確認すること。
- 教育講師による「学習相談」も実施しています。日時等の詳細は図書館のホームページで確認すること。

#### 問い合わせ

以下のメールアドレスにて受け付けます。学籍番号・氏名を明記の上、必ず「件名」を入れて連絡してください。

- 外国語科目の履修について： [sclangkyomu@tcu.ac.jp](mailto:sclangkyomu@tcu.ac.jp)
- 基礎学力調査（TOEIC）について： [ecomp-sr@tcu.ac.jp](mailto:ecomp-sr@tcu.ac.jp)
- 履修登録について： [sckyoumu@tcu.ac.jp](mailto:sckyoumu@tcu.ac.jp)
- TAP や留学準備講座について： [studyabroad@tcu.ac.jp](mailto:studyabroad@tcu.ac.jp)

以上